

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成22年度事業)

事業の概要		
事業開始年度	平成12年(狂犬病予防事業)平成19年(感染症予防事業)	
総合計画	大項目	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	05 結核・じん肺
	施策	結核・じん肺
事務事業名	03 感染症予防事業	
根拠法令・例規等	狂犬病予防法・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	
問	担当課(室)	保健課
合	職・氏名	健康係長・白髭由美子
先	電 話	64-1820
	このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	犬の所有者、被災住民等
目的(何のために)	犬の登録、狂犬病予防注射を推進することで狂犬病の発生を予防する。災害時における感染症及び新型コロナウイルス等の感染症の発生と蔓延を予防する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	狂犬病予防注射の接種率の向上 感染症情報等により、早期に必要な対策を実施する

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	狂犬病予防事業	犬の登録、狂犬病予防注射の実施及び注射済票の交付を行うことにより、狂犬病の発生を予防し蔓延を防止する	
	感染症予防事業	災害時等における消毒等の防疫活動及び感染症予防の衛生教育を行う 新型コロナウイルス等の予防啓発を行う	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	事業費	千円	258	1,375	381
	必要人員	人	0.43人	0.74人	0.38人
	必要人員	人	2,719	6,585	3,186
	事業費	千円	2,977	7,960	3,567
財源	国	千円			
	県	千円			
	支	千円			
	出	千円			
結果指標	受	%	1,323	1,292	1,240
	益	%			
	者	%			
	負	%			
結果指標	担	%	1,654	6,668	2,327
	比	%	44.4%	16.2%	34.8%
	率	%			
		%			
結果指標	結果指標	単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
	狂犬病予防注射済票交付数	説明	狂犬病予防注射済票交付数		
	対前年比	%	1,482	1,504	1,450
	活動コスト	円	-	101.5%	96.4%
結果指標	活動コスト	円	2,977,000	7,960,000	3,567,000
	単位当たりコスト	円	2,009	5,293	2,460

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
狂犬病予防注射接種率	目標値(A)	75	75	75	70
	実績値(B)	67.98	69.60	68.46	到達目標値
	達成率(B/A)	90.64%	92.80%	91.28%	70
成果指標設定の考え方・式や説明					
(狂犬病予防注射済票の交付/年度末登録頭数) × 1.00 狂犬病の流行を抑えるためには、70%以上の予防接種率が望ましいとされている。H23年度は、近年の接種率の推移からより現実的な見直しを行っている。					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い				
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている				妥当性評価 <A~E> B
	必要性	<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす				
		<input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない				
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている				効率性評価 <A~E> B
		<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている				
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である				
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている				有効性評価 <A~E> B
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている				
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある				
		<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い				
		<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している				
		<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある				
		<input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある				
		<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい				
		<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である				
		<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある				
		<input type="checkbox"/> サービスを維持するため以外、他に手段が見当たらない				
		<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている				
		<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である				
		<input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである				
		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している				
		<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている				
		<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない				
		<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい				
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している				
		<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				

事業の有効性を評価する際の留意点

進行年度(H23年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	民間業者で受けた場合犬の注射済票の交付が必要なことの周知を図るため、広報紙に掲載。また、事務の効率化するため、人材派遣の活用を継続する。民間業者で受けた等の理由による予防注射済票未交付犬対策として、登録原簿の精査を行うこととしている。						

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い				
総合評価	評価区分	<A~E>				妥当性 B 有効性 C 効率性
	狂犬病予防事業に関しては、予防注射の接種率の向上に努めてはいるが、民間業者で受けた犬の注射済票の交付が少ないため予防注射の接種率の低下につながっている。今後は、民間業者で受けた犬の注射済票の交付向上を引続き目指す。感染症予防事業では、インフルエンザ予防接種関係が主なものであり、今後も感染症の流行の動向を見て迅速な対応ができるよう平素からの体制整備が必要である。					

平成24年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	民間業者で受けた場合、犬の注射済票の交付が必要なことの周知をより一層図りたい。						